

「もばら生活ガイドブック」 2018年度版を 市内全世帯に配布します!

市の情勢や公共施設、医療機関などの情報をまとめた「もばら生活ガイドブック」2018年度版が完成しました。12月初旬より市内全世帯に順次無料で配布しますので、ぜひご活用ください。1月11日(金)を過ぎても届かない場合は、秘書広報課へご連絡ください。

なお、本ガイドブックは、市と株式会社ゼンリンの官民協働事業により作成され、発行・配布に要する費用は、市の予算をかけずにすべて広告掲載料で賄われています。



お問い合わせは、**秘書広報課 (3階)**

☎(20)1512、FAX(20)1601へ。

市長が行く

技術の継承

No.105



茂原市長 田中豊彦

私が市長に就任してからのことしか分からないのですが、茂原市役所や広域の職員の募集に対し、土木などの専門分野での採用が困難となってきました。募集をかけても応募が少なく、また試験をしても採用基準に満たないなど、なかなか厳しい状況が続いています。特に、建築、土木関係、電気技術の分野においてそれは顕著に見られます。時代の背景もあるのでしょうが、俗に言われている3K(きつい、汚い、危険)の分野に人が集まらない状況です。

私が市長に就任してからのインフラの業務管理に支障をきたすことが想定されます。これは近年アメリカやヨーロッパ、中国などでも見られるように、橋の崩落事故あるいは道路の陥没、下水道管理の不備による河川の汚染など、人々の生活に直結してくる問題です。

確かに「コンクリートから人へ」といったようなキャッチフレーズで、一時期公共工事を悪者扱いした時代もありました。また、IT社会の到来で厳しい労働環境の割には対価が少なく、こういった専門技術的な仕事に魅力が感じられなくなってきたという時代背景もあります。

しかし、このままの状況が続くと、例えば橋梁の維持管理、道路点検や河川の補修点検、下水道管理業務や水道事業での施設管理など、あらゆる

知識だけでは駄目で、それを実際に使う技術が絶対に必要です。この技術の継承はとても大切な事なのですが、その技術者は減少傾向にあり、将来が不安視されています。その一つの要因として、茂原農業高校、茂原工業高校という専門分野の人材を育成する高校が、統合による学科の見直しにより、土木や建設の専門技術を持った若者が育た

なくなってしまうことが挙げられます。確かに「コンクリートから人へ」といったようなキャッチフレーズで、一時期公共工事を悪者扱いした時代もありました。また、IT社会の到来で厳しい労働環境の割には対価が少なく、こういった専門技術的な仕事に魅力が感じられなくなってきたという時代背景もあります。

原農業高校、茂原工業高校という専門分野の人材を育成する高校が、統合による学科の見直しにより、土木や建設の専門技術を持った若者が育た

原農業高校、茂原工業高校という専門分野の人材を育成する高校が、統合による学科の見直しにより、土木や建設の専門技術を持った若者が育た

原農業高校、茂原工業高校という専門分野の人材を育成する高校が、統合による学科の見直しにより、土木や建設の専門技術を持った若者が育た